平成３１年度　鴻巣市立吹上北中学校　始業式　式辞

平成３１年４月８日（月）

１週間前、新しい元号「令和」が発表されました。そして、今日から新しい学年が始まります。

皆さんの目が輝く、元気な顔を見ることができ、とてもさわやかな気分になっています。

皆さんも、新しい学級編制の下で、クラスの仲間の顔ぶれも新しくなり、先生も教室も新しくなり、心機一転、緊張感とともに期待感を感じている事と思います。

さて、先月卒業した１０２名の卒業生の先輩方も、環境が一新され、新たな環境でスタートしています。

今、「スタートしています」と言ったのは、高校によっては、今日までにすでに入学式を終え、１学期が始まっている学校もあれば、既に春休み中から学力テストや部活動に参加している先輩方もいます。

環境に変化が起こるこの時期は、同時に君自身の中でも変化が起こります。

そうは言っても急激な変化は難しい、と思っている人もいるかと思いますが、生物は他の物質とは違い、その生命を保持するために“新陳代謝”ということを行っています。姿全体は変わっているようには見えないので

すが、実際は細かな細胞が絶え間なく、どんどん新しくなっているのです。

社会的にもこれに似たことがあります。元号の改元もそのひとつですが、学校でも、学期や学年を設けて、クラス替えをしたり、先生が新しくなったり、教室環境が新しくなったりするのも、生物の新陳代謝と似ています。どうか皆さんも、この物理的な「変化」の時に新しい自分になるべく、自分自身の変化につなげてください。

では、君が１年で最も成長するのはいつでしょう。

数年前の流行語ではないですが、「今でしょう」。つまり、「今」、物理的に変化する時が、君自身が最も成長する時なのです。

運動をしている生徒は、自らの試合経験で考えて見てください。

例えば、野球。初回に失点したけど、イニングが変わり前顧問の須永先生から激を飛ばされ、積極的なプレーを心掛けたら、逆転できた経験は、野球部　部長　斎藤くんありませんか。

例えば、バスケットボール。１ピリ、２ピリはチームワークに欠けていても、石田先生やコーチから気合を入れられた次のピリオドから意識的に声を出すようにしたら、雰囲気が変わり、見違えるプレーが出来るようになった経験は、女子バスケ部　部長　熊谷さんありませんか。

私は、中学校時代からこの年齢になってもサッカーをしていますが、

同じメンバーで試合をしていても、前半は防戦一方でも、ハーフタイムにチームで戦術を再確認して後半に入ったら、攻撃がうまくかみ合い、逆転勝ちをした経験があります。

ソフトテニス、バレーボール、バドミントンその他の競技でも、「コートチェンジ」や「新たなセット」といった、物理的な変化の時を境に、見違えるようなプレーができるようになるものです。

そのために、肝心なことは皆さんの行動変容です。

３月までの自分を冷静に評価し、具体的な課題を見つけ出し、自分でそれらのことを意識し、自分でコントロールする。そして、自分で考え、自分から進んで行動し、ねばり強く「行動変容」に取り組むとことが大切です。

その基本は、校訓「凡事徹底」当たり前のことを当たり前にできる人間になること。そして、３つの実践行動「あいさつ」「返事」「脱いだ靴を揃える」を意識して実行することです。まず、この３つを実践することによって、自然と変化があらわれてきます。

自分の頭で考え、自分で意識して行動し、北中生ひとり一人が、この「変化」の時に、新しい自分に成長してくれることを期待し、平成３１年度　始業式の式辞といたします。

平成３１年４月８日　　鴻巣市立吹上北中学校長　　関根　茂夫